

## 沖縄県国頭村奥方言

狩俣繁久・島袋幸子（琉球大学）

### 1 国頭村奥の概要

奥方言とは、ここでは、国頭村奥集落で話されている地域言語のことをさす。奥集落は沖縄本島の最北端の辺戸岬から東に位置する。平成 30（2018）年 1 月時点での実人口は 183 人（111 戸）。

### 2 国頭村奥方言の概要

国頭村奥の方言は、UNESCO の Atlas of the World's language in Danger にあげられた国頭語のなかの一つの下位方言である。国頭語は、UNESCO のリストによると、「危険」と判定されている。しかし、同じ国頭語に属する今帰仁方言が『沖縄今帰仁辞典』のような本格的な辞典、談話資料と文法記述を有しているのに対して、奥方言は、方言母語話者は存在するが、人の流出が激しく、継承する若い人が少ない状況である。

奥方言は、北琉球諸語の下位言語の沖縄語北部方言に属する。音韻的には、奥方言は、古代ハ行子音の *p* を保存し、広母音 *a*、半広母音半狭母音 *e*、*o* と結合する *k* が摩擦音化して *h* に変化している。また、無声破裂音に喉頭・非喉頭の対立を有する。

### 3 人口構成からみた奥方言

奥集落の平成 22 年 10 月末現在の年代別人口（国勢調査）は以下のとおりである。

75 歳以上	32 人
70 歳～74 歳	14 人
60 歳～69 歳	41 人
50 歳～59 歳	20 人
21 歳～49 歳	46 人
20 歳以下	30 人
計	183 人

複数の人の話から、伝統的な奥方言の話者は 65 歳以上であろうとのことである。20 歳以下の人口は 16% で、60 歳以上の人口は 47.5% で、そのうち 75 歳以上は 17.4% である。